



GP329Ex

Motorola Professional Radio

for professionals in hazardous environments -

モトローラ プロフェッショナル携帯型無線機

本質安全防爆構造「IICT4」対応





危険な環境下でのプロの選択。

石油コンビナート、化学プラントなど潜在的に爆発の危険性がある環境下では、安全で信頼できるコミュニケーションを確保することが最も重要となります。

モトローラは「3つの実績」により、常にそのニーズに応えてきました。

通信事業において75年もの間培ってきた「歴史と専門技術」。

危険な環境にも耐えうる製品を生み出してきた「豊富な経験」。

そして、実証されたプロ向けの「業務用無線機」。

モトローラの本質安全防爆対応携帯型無線機は、危険地帯においても、簡単操作でスムーズな通信を実現します。

品質と信頼性 Quality & Reliability

GP329Exは、耐久性に優れるとともに、「コンパング技術」や「ローレベル・エクspansion (LLE)」により通話中に発生するノイズを減少させ、きわめてクリアな音質を確保できます。さらに「ウイパー機能」により小声での通信もはっきり聞き取ることができます。

無線機は5年間酷使した状態をシミュレートしたモトローラの厳しい耐久性テスト(ALT)に合格し、ホコリが舞う環境での使用にも耐えうる防塵性(IP6X)にも適合するなど、他製品の水準を大きく上回る堅牢性と信頼性を誇ります。

さらに、米国軍用規格であるMILスペック810C/D/E/Fの11を超えるテストにパスしています。

安全性 Safety

GP329Exは欧州防爆指令(ATEX)およびIEC防爆電気機器規格適合試験制度(IECEx)に適合しています。ブルーのボディカラーはATEXのオフィシャルカラーを採用しています。

このボディカラーにより、危険場所に立ち入る際に本質安全防爆の無線機を持っているかどうかを一瞬で判断することができます。

また、バッテリーには特殊な設計が施されているため、非防爆バッテリーの誤装着を防ぎます。また、ロックができるアクセサリコネクタプラグの採用により、不正な開封もガードします。

生産性 Productivity

簡単操作で、一斉通信ができるため、全員と情報が共有でき、生産性が向上します。また、リモートスピーカマイク(別売)を使用することで作業の効率もさらにアップします。

モトローラの本質安全防爆対応携帯型無線機GP329Exは、高い安全性と優れた操作性でお客様の業務を強力にサポートします。

世界水準の高い信頼性

世界に認められた防爆認証モデルGP329Ex

本質安全防爆構造(技術的基準) / 日本国内

本質安全防爆構造とは、電気機械器具を構成する部分の発生する火花、アークまたは熱が、ガスまたは蒸気に点火するおそれがないことが点火試験等により確認された構造をいいます。

GP329Exは、労働安全衛生法で規定されている危険場所(1種・2種)においてご利用いただけます。
化学工業・ガス会社・発電所・下水処理場・塗装業・食品製造・薬品工場 等

本質安全防爆構造 Ex ib II C T4

Ex	ib	II	C	T4	最高表面温度が135℃以下を示す
					ガスまたは蒸気の最小点火電流比の範囲が0.45未満
					工場または事業場用の防爆電気機器(坑内を除く)
					危険場所で使用される本安関連機器の種類(クラス ib)
					本質安全防爆構造(技術的基準)

ATEX (欧州防爆指令) 認証

ガス	II	2	G	Ex	ib	II C	T4										
粉塵	II	2D		Ex	tD				A21	IP6x	ib	D21	T110°C				
採掘	I	M2		Ex	ib	I											



IECEx (IEC防爆電気機器規格適合試験制度) 認証

ガス				Ex	ib	II C	T4										
粉塵				Ex	tD[ibD]				A21	IP6x			T110°C				
採掘				Ex	ib	I											

本質安全防爆構造 モトローラ GP329Ex

モトローラならではの優れた堅牢性

- モトローラオリジナルの耐久性テスト(ALT)クリア
- 米国軍用規格MILスペックをクリア

国際電気標準会議(IEC) 保護等級IP64に適合

防塵性: IP6X(耐じん形)相当 / 防水性: IPX4(防まつ形)相当

環境対応

EU(欧州連合)のRoHS指令に適合

継ぎ足し充電ができる大容量1480mAhのリチウムイオン電池を採用

より安全に、より使いやすさを求めたデザイン

- 本質安全防爆無線機であることが一目でわかるブルーのボディーカラーを採用。ボディーカラーはATEXのオフィシャルカラーです。
- 非防爆電池の誤装着を防止するバッテリーデザイン
- 不正開封を防ぐアクセサリコネクタを採用
- 人間工学に基づいた設計により、グローブをした手でも使い易いデザイン

高品質な音声通信による安全性の向上

- 周囲の雑音を低減するローレベルエクспанション機能
- 外来ノイズ、弱電界の雑音量を抑制するコンパンダ機能
- 小声での通信も逃さず相手に伝えるウイisper機能

モトローラ独自の2年間保証

〈実物大〉



アクセサリ



防爆用リモートスピーカマイク 音量切替付き (GMMN1111)
 防爆用ハードレジャーケース (GMLN1111)
 防爆用ソフトレジャーケース (GMLN1113)
 防爆用ショルダーストラップ (NTN5243) GMLN1111用
 防爆用チェストバック (MDHLN6602)
 防爆用ウエストバック (MDRLN4815)
 GP329Ex防爆用リチウムイオン充電電池 1480mAh (NNTN5510CR)
 連結型充電器 (JMTN4011)

※アクセサリは本質安全防爆認証を受けたものをご使用ください。

ガスまたは蒸気と防爆機器の温度等級および分類との対応 (抜粋) 「ICT4」

グループ	温度等級	T1	T2	T3	T4
II A		アセトン	エタノール	ガソリン	アセトアルデヒド
		トルエン	1-ブタノール	ヘキサン	
		アンモニア	塩化アセチル	シクロヘキサノール	
		ベンゼン	クメン		
		エタン	プロピレン		
		メタン			
		プロパン			
		メタノール			
		一酸化炭素			
		酢酸			
II B		コークス炉ガス	エチレン	2-エトキシエタノール	エチルメチルエーテル
		シクロプロパン	エチレンオキシド	クロトンアルデヒド	ジエチルエーテル
					テトラフロロエチレン 硝酸イソプロピル
II C		水素	アセチレン		

参考出典元:平成8年11月(社)産業安全技術協会発行、防爆構造電気機械器具型式検定ガイド(国際規格に整合した技術的基準関係)

GP329Ex仕様・諸元

周波数帯	VHF	UHF
型式	AZH25KCC6AN3	AZH25RCC4AN3
防爆構造型式検定合格番号	第TC19272号	第TC19271号
防爆構造の種類	本質安全防爆構造 (ib)	
対象ガスまたは蒸気分類と温度等級	ICT4	
周波数	136-174MHz	403-470MHz
チャンネル数	16チャンネル	
電波型式	F2D、F3E	
電源電圧	7.2V	
送信出力	1W	
外形寸法 (突起物含まず)	約(H)134×(W)60×(D)39mm	
重量	約504g (バッテリー/アンテナ/ダストカバー含む)	
バッテリー持続時間	11時間 (送信5:受信5:待受90の割合で使用した場合)	
防塵・防水性能	IP64	
MIL (米国軍用規格)	MIL810 C,D,E,F	
動作温度	-20℃~+50℃	



モトローラ製品のお問い合わせ先
03-3719-2231
<http://motorola-bizunit.jp>

販売元 株式会社 パーテックススタンダード 東京都目黒区中目黒 4-8-8

私どもがお手伝いたします。お気軽にご相談ください。

〒103-0007
 東京都中央区日本橋浜町2-20-6 花岡ビル
 株式会社 **エクスリ**
 電話 03-3662-0551 FAX 03-3662-0553



注意
 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をお読みください。

モトローラ、MOTOROLA、モトローラのロゴマークおよび®表示が付された商標は、米国およびその他の国におけるモトローラ・インクの登録商標です。文中に記載されている他社の製品名やサービス名等は、各社の商標または登録商標です。©2010 Motorola, Inc. All rights reserved.

本製品は日本国内の技術基準に適合した認証を取得しています。仕様は改良等のため、予告なしに変更することがあります。製品の色は印刷の関係上、実際の色とは異なる場合があります。●弊社は有限責任中間法人JBRCに加盟し、小形充電式電池のリサイクルを実施しています。ホームページ (<http://www.jbrc.com>) ●(株)パーテックススタンダードはモトローラ・インクのグループ会社です。